

# 148回 みやまえロビーコンサート

平成 18 年 3 月 23 日 (木) 12:10~ 宮前区役所 2 階ロビー

## 【プログラム】

ラ・クンパルシーラ

踊り手

ノクトゥルナ

ウン・プラセル

恋わずらい

エル・チョクロ

リベルタンゴタ



ていほう  
啼鵬 (バンドネオン)

東京芸術大学附属高校を経て同大学作曲科卒業。芸高在学中は自身がピアニストを務めたロス・ソリスタス・デ・タンゴ・芸高を率いて活躍。またバンドネオンを独習。須川展也、葉加瀬太郎、live image、川井郁子、あがた森魚、カルメンマキ、安寿ミラなどのツアーに参加。その他これまでに菅原洋一、芦野宏、阿保郁夫、冴木杏奈などをサポート。1998年にはカンツォーネの女王、ミルバの日生劇場 35 周年記念公演「七つの大罪」にピアニストとして参加。2000年に渡欧し、第3回オウルンサロ国際音楽祭に参加。ピアソラのバンドネオン協奏曲「3つのタンゴ」を演奏。2002年には武満徹の唯一のバンドネオン作品「Cross Talk」を再演。2003年にテレビ朝日開局 45 周年記念ドラマ「流転の王妃」の編曲を担当。同年モスクワ・フィルハーモニーとの録音のため渡露。ロス・マエストリートス・デル・タンゴのリーダー、広島を本拠地としたモダン・タンゴ五重奏団メンバー、佳秋カルテットのヴィオラ奏者、アコースティック・ユニット、といぼっくすメンバー、フュージョン・バンド「なおとくとていほうくん」での活動等、マルチ・ミュージシャンとしてグローバルな活動を展開中。

主な参加 CD に「Cafe 1930/須川展也」(東芝 EMI) 「The Red Violin/川井郁子」(Victor) 「あのある...日本のマエストロたち/といぼっくす」(BMG ファンハウス) 「鉄腕アトム・オリジナル・サウンド・トラック」(SONY) 「流転の王妃オリジナル・サウンド・トラック」(HATS) など。また「ザ・サクソフォーン」シリーズ(アルソ出版)の他、全音、ヤマハ・ミュージック・メディアから独自のアレンジを施したピアソラ曲集を出版している。



たかだ げんたろう  
高田 元太郎 (ギター)

18 才で今野有二に師事し、クラシック・ギターを始める。スペインにてホセ・ルイス・ゴンザレス、ウルグアイにてアベル・カルレバロ、エドワルド・フェルナンデスに師事。1987 年 G L C 学生ギターコンクール大学生の部第 1 位、スペインギター音楽コンクール第 1 位、バリオホールにてデヴェურიサイタル。1988 年タレガ国際ギターコンクールにてセミフィナリスタ(スペイン、ベニカシム)、アランプラ国際ギターコンクールにてアランプラ賞(第 1 位)。1989 年セゴヴィア国際ギターコンクールにて本選入賞(スペイン、アルムニェカール)。1992 年アルゼンチンギタリスト会議主催のコンクール第 1 位。1994 年マヌエル・ボンセ国際ギターコンクールにて審査員特別賞(メキシコシティ)。

1993 年より 1996 年までの 4 年間、南米ボリビアのラパス国立音楽院のギター科主任教授を受け持つ。ボリビアのほか、ブラジル、アルゼンチン、ウルグアイ、ペルー、チリ等南米各国にて演奏会、講習会を行う。1997 年に帰国後、各地にて演奏・教授活動を行う。現在、現代ギター学院講師。昭和音楽大学講師。アコースティックユニット「といぼっくす」メンバー。

ソロデビュー CD 『ピアソラ: ブエノスアイレスの四季』 DICC-28007 トライエムより発売中。